保護者の皆様

# 「横浜市における GIGA スクール構想」を進めます。

## じっくり考え　高め合い　次につなげる確かな学び
## ～学び方のベストミックスで　一人ひとりのアップデート～

横浜市は、令和２年９月に「横浜市における GIGA スクール構想」を公表しました。

これからの「Society5.0」時代では、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常となることがうたわれており、教育においても新時代に即した能力の育成等が求められています。

また学校では、不登校や様々な障害のある子ども、日本語指導が必要な子ども、困窮する子どもなど、子どもの抱える背景や取り巻く環境、課題の多様化が進んでいます。

こうした状況を踏まえ、横浜教育ビジョン 2030 に掲げる「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指して実践してきた、今までの横浜の教育と最先端の ICT のベストミックスを図り、教育の在り方を日々アップデートし続けていくことが必要です。

横浜市では、これまで以上に多様性を尊重しつつ、ICT を活用しながら、児童生徒を誰一人取り残すことのないよう、個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現を目指します。

ICT 環境の活用や情報活用能力の育成については、学校ごとに児童生徒の状況を踏まえ、情報モラル教育を推進するとともに、個人情報保護等の児童生徒の人権に十分配慮し、取り組んでいきます。

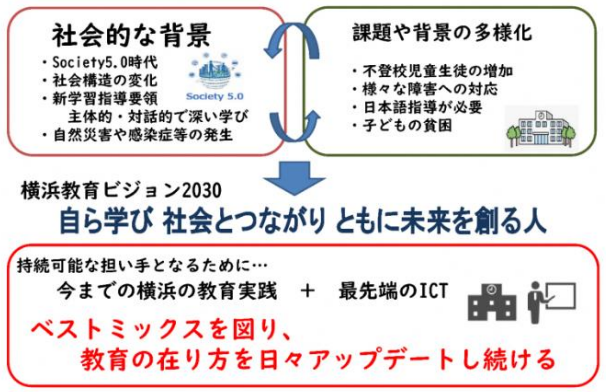
この取組には、保護者の皆様のご理解とご協力も必要となります。

保護者の皆様と課題を共有しながら解決し、児童生徒にとって、より良い学びの実現を大切にしてまいりますのでよろしくお願いします。

令和３年１月

横浜市教育委員会事務局

（図１）　横浜市におけるGIGAスクール構想

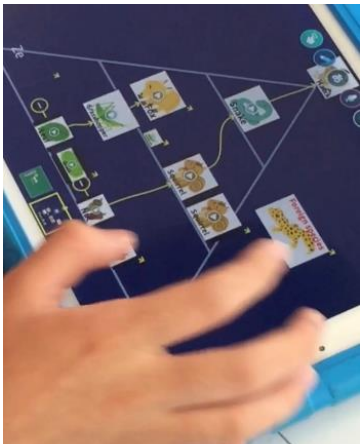



（図２）　構想実現により目指す2つの学び

「横浜市におけるＧＩＧＡスクール構想」について
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/giga.html

# これからの取組例

☆「主体的・対話的で深い学び」を支えるツールとして使います。



「G Suite for Education（ジースイートフォーエデュケーション）」や「ロイロノート・スクール」等の授業支援ソフトやタブレット端末の機能を活用し、子ども一人ひとりが自分の

※学校によっては学習ドリルなど有料アプリを活用し、利用料の負担をおかけすることもあります。

☆情報活用能力の基礎となる情報モラルを高めます。

ICT 端末を活用する上で、一人ひとりの情報モラルが必須です。学校でのタブレット端末だけでなく、家庭でのスマートフォンの利用でも必要な能力です。

☆家庭と学校の連絡のデジタル化を進めます。

家庭と学校の連絡のデジタル化例

① 保護者からの連絡受付

② 学校から保護者等への
お知らせ配信

③ 学校から保護者への

ロイロノート・スクールの使用例

【参考　家庭からの欠席連絡画面】

横浜市教育委員会事務局学校教育企画部教育課程推進室　tel：045-671-3732